

平成 25 年度 岩手県学校給食モニタリング事業 事業実施結果

平成 26 年 2 月 28 日 岩手県教育委員会

岩手県教育委員会では、学校給食における放射性物質の有無や量について把握・分析し、より一層の学校給食の安心の確保につなげることを目的として、平成 24 年度に引き続き文部科学省の委託を受け、「平成 25 年度岩手県学校給食モニタリング事業」を実施しました。

県内 5 施設で 1 年間を通じた検査（全 15 回）を実施した結果、放射性ヨウ素 131、放射性セシウム 134、放射性セシウム 137 のいずれも検出されませんでした。

今回の調査結果を踏まえると、児童・生徒に提供されている学校給食において、放射線による健康影響は極めて小さいと考えられます。

1 モニタリング実施施設名等

市町村等名	給食施設名	備考(広域振興圏)
紫波町	紫波町学校給食センター	県央
大船渡市	大船渡市立越喜来学校給食共同調理場	沿岸
大槌町	大槌町学校給食センター	沿岸
普代村	普代村学校給食共同調理場	県北
岩手県立前沢明峰支援学校	岩手県立前沢明峰支援学校	県南

※実施市町村等は、希望調査及び地域バランス等を考慮し選定したもの。

2 検査期間

平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月（夏季・冬季休業中は除く）

検査は、隔週ごとに実施し、全施設同時期に全 15 回の検査を行った。

3 検査方法

ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法により、児童・生徒に提供されている学校給食 1 人分を 1 週間（月～金の 5 食分）ごとにまとめて検査。※祝日等で 5 日分の給食が確保できない場合は、5 日未満の日数で検査を実施

(1) 検査機関：一般社団法人岩手県薬剤師会 検査センター

(2) 測定機器：ゲルマニウム半導体検出器

4 検査結果

全施設、全ての検査において、放射性ヨウ素 131、放射性セシウム 134、放射性セシウム 137 いずれも検出されなかった。（検出限界値：各核種 1 Bq/kg未滿）

5 調査委員会

県原発放射線影響対策本部アドバイザー、教育関係者、市町村学校給食関係者等による調査委員会を設置し、事業実施方法、検査結果等について協議。

6 今後の取組み

本事業結果の周知を図るほか、各県立学校等における学校給食食材等の測定を継続実施し、学校給食における安全・安心の確保に努めていく。